

安全報告書

2020 年度



横浜高速鉄道株式会社

ごあいさつ

平素より横浜高速鉄道みなとみらい線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

横浜高速鉄道では、運行の基本である「安全の確保」は、すべてに優先される最も重要な責務であると考え、安全を最優先とする企業風土の定着に社員一丸となって取り組んでおります。

本報告書は、2020年度の当社における輸送の安全の確保に関する取組みや、鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。2020年度は、お客様に安心してご利用いただけるよう、Y500系にLED蛍光灯一体型車内防犯カメラを整備しました。また、災害に備えた防災訓練として列車一斉停止訓練や隧道内における列車火災を想定した、お客様の避難誘導および負傷者の救護、初期消火活動、関係各所への連絡通報訓練を実施しました。こうした訓練等を通して、事故・災害に対し社員一人ひとりが迅速かつ的確な初期対応を行い、お客様の安全確保が図れるよう、さらなる安全管理体制の構築に努めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社における安全の確保に向けた取組みを皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。

是非ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2021年6月

横浜高速鉄道株式会社

代表取締役社長 鈴木 伸哉



目次

● 会社概要	1
● 安全に関する基本方針	2
● 安全管理体制	3
● 安全確保の取組み	5
● 新型コロナウイルス感染症対策	9
● 障害・事故	11
● 安全対策	12
● 営業路線図	14

会社概要

●名称

横浜高速鉄道株式会社

●所在地

神奈川県横浜市中区元町一丁目11番地

●設立

1989年3月29日

●事業内容

1. 鉄道事業

(みなとみらい21線：第一種鉄道事業者、こどもの国線：第三種鉄道事業者)

2. 鉄道施設内における日用雑貨・飲食物等の販売、飲食業、広告業および旅行業等のサービス事業

3. 不動産の売買、管理および賃貸

4. 前各号に付帯関連する一切の業務

経営理念

- 一 私たちは、公共交通機関としての使命を深く自覚し、運行の基本である安全を最優先とし、快適で利便性の高いサービスを提供します。
- 二 私たちは、鉄道事業を通して横浜都心部の活性化や沿線の集客を図るとともに、首都圏の広域的な交通ネットワークの一翼を担います。
- 三 私たちは、健全で安定した鉄道経営を目指します。

安全に関する基本方針

当社では輸送の安全を確保するため、「安全方針」を定め、全社員に周知・徹底を図っております。

●安全方針

1. 常に安全を最優先とし、人命を第一に行動します。
2. 法令・規程等を遵守し、厳正に職務を遂行します。
3. 思い込みや憶測に頼らず、迅速かつ正確に対処します。
4. 気づき合う職場環境をつくるため、コミュニケーションを大切にします。
5. 問題意識を高く持ち、安全マネジメント態勢の継続的改善に取り組みます。

●社員行動規範

1. 企業の社会的使命を認識し、各種法令、規範を遵守し、公正な事業活動につとめます。
2. お客様に安心して、気持ちよくご利用いただける鉄道を目指すため、まず、お客様の視点に立って考えます。
3. 経営情報などの情報を適時、適切に開示します。
4. 事業活動で取得した情報を大切に扱い、社内規定に基づき管理を徹底します。退職後も秘密を保持します。
5. ひとたび事故が起これば、お客様の人命に関わる事業であることを認識し、安全マネジメント体制を確立するとともに、危機意識を持って事に当たります。
6. 環境に配慮した事業活動を行い、環境への負荷を減らし、資源を有効に活用する努力をします。
7. 人権意識を高め、あらゆる差別を廃し、個人を尊重します。
8. 社会的秩序に反する勢力に対しては毅然とした態度で臨みます。
9. セクシュアルハラスメント等差別のない、個人を尊重する働きやすい環境を創ります。
10. 会社は自己実現の場である事を認識し、自ら考え、失敗を恐れず挑戦し、自分の持てる能力を十二分に発揮します。チームとしての力が最大となるよう、和を大切に、誠実に行動します。

●安全重点施策

全社的な安全対策の深度化と安全意識の底上げ

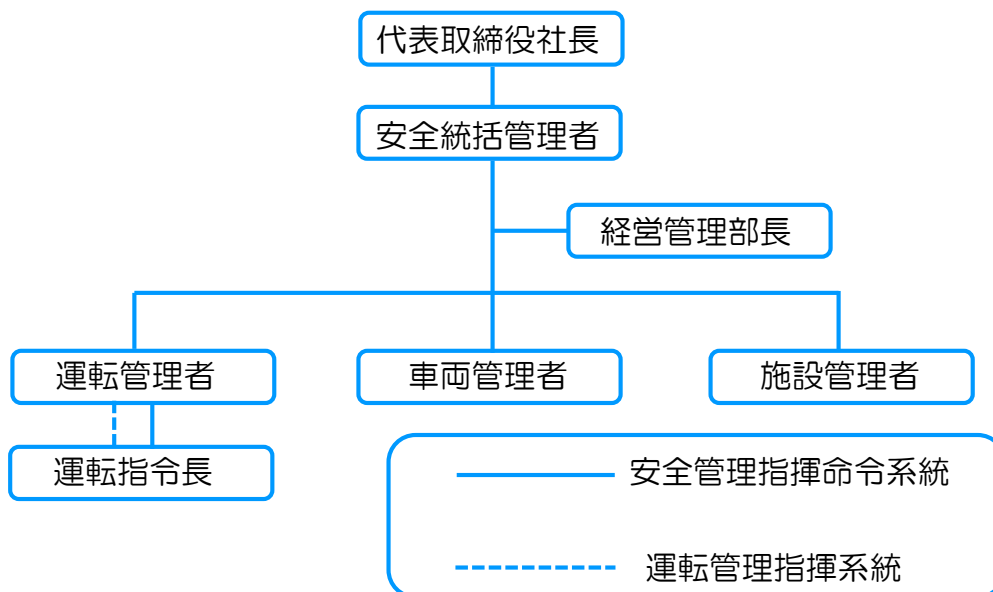
- ・大規模災害等発生時における各課の初動態勢の再確認と、事業継続計画（BCP）の内容について各課で教育を実施し有効性について検証する
- ・異常時総合訓練実施による社員一人ひとりの危機管理意識と自発的な行動力向上を図る
- ・新型コロナウイルス感染症の対応と検証

安全管理体制

代表取締役社長を最高責任者として、安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務を明確にして安全管理体制を構築し、運輸安全マネジメント態勢の継続と改善に取り組んでいます。

●安全管理体制

安全管理体制図



●各責任者の責務

代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する全ての責任を負う。

安全統括管理者：輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

経営管理部長：輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

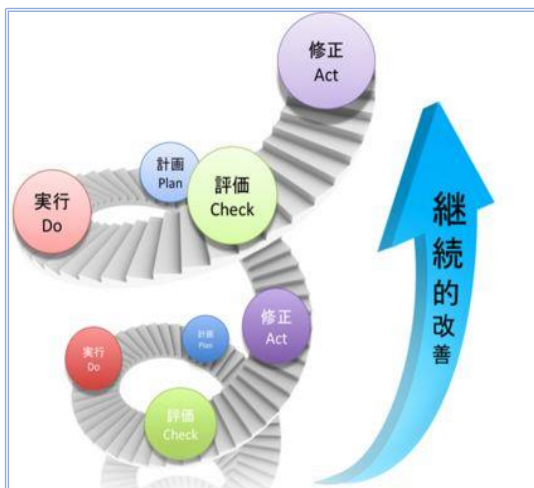
運転管理者：運転に関する事項を統括する。

車両管理者：車両に関する事項を統括する。

施設管理者：鉄道施設に関する事項を統括する。

●運輸安全マネジメント態勢の継続と改善

安全管理体制のPDCA サイクル



◆安全推進会議

安全統括管理者を議長に、経営管理部門、運輸部門の部長、課長および係長がメンバーとなり毎月開催しています。事故・障害の情報共有と原因究明・対策の検討等、安全に関する事項について審議しています。

◆運輸安全マネジメント内部監査

監査員は内部監査研修修了者と同等の能力を有する者の中より、安全統括管理者が指名した者で構成し、経営トップ・安全統括管理者・経営管理部長へのインタビューと運輸部門への監査を実施しています。

安全確保の取組み

● 駅異常時対応訓練

2020年5月19(火)～5月31日(日)、9月2日(水)～9月15日(火)に、列車防護、信号炎管の使用法、元町・中華街駅での車両交換方法、非常停止ボタン取扱い方、転てつ器手回し方法、可動式ホーム柵操作方法について、教育・訓練を実施し緊急時の対応方法を再確認しました。

今後も継続して教育・訓練を実施し、駅係員の異常時対応を含めた対応方法の習熟を図ってまいります。

● 防潮板・防潮シート設置訓練

異常気象、津波に備えて、2020年7月23日(木)に、防潮板・防潮シートの使用を想定した設置訓練を実施しました。



防潮板の設置訓練

● 列車一斉停止訓練

2020年9月1日(火)「防災の日」の13時00分に、地震発生を想定した列車一斉停止訓練および緊急情報の受発信訓練を行いました。またこれらの訓練を通して、地震発生時の指示方法や連絡通報方法について再確認しました。

今後も継続して訓練を実施し、運転指令員の異常時取扱いについて習熟を図ってまいります。

●安全統括管理者講話

2020年7月8日（水）～7月10日（金）に、現業と本社員を含めた全社員を対象に安全統括管理者が講師となり、安全管理規定および安全管理体制等の「安全に関する教育」を行いました。

当社の安全管理体制は、全社員が理解して行動するべきものであるため、今後も継続して実施してまいります。



安全統括管理者講話

●異常時総合訓練

2020年11月27日（金）に、隧道内における列車火災の発生を想定した異常時総合訓練を実施しました。

この訓練では、乗務員、駅係員、運転指令員および本社員が合同で、消火器による初期消火、負傷者の救護、関係各所への連絡通報およびお客様の避難誘導を実施しました。

今後も様々な想定で訓練を継続的に実施し、事故・災害発生時の知識・技能の向上を図ってまいります。



避難誘導訓練



列車からの直接降車訓練



AED 使用訓練



消火器使用訓練

●経営トップによる安全講話および現場巡視

2020年12月15日（火）～12月17日（木）に、全社員を対象に社長安全講話を実施しました。安全方針の5項目を深く掘り下げ、言葉だけでなく、主旨を深く理解して業務に反映し実践することを促しました。

また、安全総点検期間中に、経営トップを含む幹部の下で自主点検を実施し、駅や運転指令所等の現業部門への巡視を通じ、現業監督者との意見交換を行うことで、経営方針で掲げる安全最優先の意識をより強固なものにしています。

今後も継続して実施し、安全意識の向上を図ってまいります。



社長安全講話



社長巡視

●AED使用訓練

2021年2月15日（月）～2月20日（土）に、緊急時のAED使用を想定した救護訓練を実施しました。

●災害・事故対策本部設置訓練

大規模災害発生時における各課の初動対応の内容と災害・事故対策本部設置までの流れ、対策本部設置後の業務内容等について、「災害・事故対策規程」および「異常時初期対応マニュアル」を基に再確認を行うとともに、復旧体制を確実なものとする事を目的に災害・事故対策本部設置訓練を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス対策本部を中心として、社員の在宅勤務及び時差出勤の実施、マスク着用の徹底や携帯用アルコール消毒液の配布、健康状態の把握に努めるとともに、駅構内における定期消毒清掃の実施や駅務機器への抗菌シートの設置、車内においても定期消毒の実施や車内換気の徹底を行うなど、感染拡大防止のための対策を講じました。

【安全な鉄道の利用環境の整備】

●車両換気の励行



●車内混雑緩和、分散乗車を目的とした時差出勤やテレワーク実施の呼びかけ



●エスカレーターや階段の手すり、エレベーターボタン、券売機等、駅施設における定期消毒清掃の実施



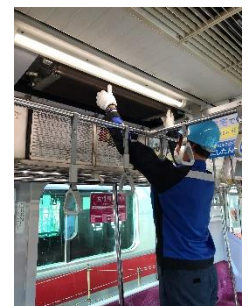
●車内の定期消毒清掃



●券売機・精算機への整列ラインの設置





●つり革や手すり、座席、空調装置等への車内の抗ウイルス・抗菌コーティング加工の実施



●全駅にアルコール消毒液の設置

●券売機・精算機タッチパネルへの抗菌シートの貼付

【鉄道の運行を継続的に維持するための取組】

<ul style="list-style-type: none"> ●健康管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ●マスクの着用や手洗い・うがい実施の徹底
<ul style="list-style-type: none"> ●テレワークや、時差出勤の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●消毒液の携帯と活用
<ul style="list-style-type: none"> ●駅改札窓口の飛沫飛散防止用のビニールシートやアクリルパネルの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビニールシートやアクリルパネルの無い箇所でのお客様対応時のフェイスガード使用 
<ul style="list-style-type: none"> ●不要・不急な出張の自粛、Web会議の実施 	

障害・事故

●鉄道運転事故（列車脱線事故、鉄道人身障害事故等）

鉄道運転事故は発生しませんでした。

●輸送障害（鉄道に起因する30分以上の遅延や運休等）

1. 設備故障に伴う輸送障害

《発生日時》2020年8月30日（日） 20時00分

《発生場所》みなとみらい線 横浜駅

《概要》 ホーム上渋谷方エスカレーター発煙に伴い、消火対応及び安全確認のため、一時的に運転を見合わせました。乗車中のお客様に降車いただくとともに、警察、消防の確認を経て、約130分後に運転を再開しました。

《対応》 エスカレーター内部の埃清掃及び定期確認の強化を実施しました。

●インシデント（事故の兆候）

インシデントは発生しませんでした。

安全対策

●可動式ホーム柵の整備

みなとみらい線では、ホームから線路内への転落事故やホーム上の列車への接触事故を防止するため、全駅に可動式ホーム柵の整備を進めています。

残す新高島駅の可動式ホーム柵の整備は、2021年1月に発生したメーカー工場火災の影響により、一部製品の再製作を要するため、2021年11月の稼働を目指して整備を進めています。

●ATC（自動列車制御装置）

みなとみらい線では、信号保安装置としてATC(自動列車制御装置)を採用しています。これは、列車が連続的に速度情報を受信し、走行速度が定められた速度を超えた場合には自動的にブレーキが作動するシステムです。

●Y500系車内防犯カメラの整備

車内の安全性に対する社会的ニーズが高まるなか、LED 蛍光灯一体型車内防犯カメラを1両あたり4箇所を設置いたしました。これにより車内のセキュリティ向上および車内トラブル発生時の対応の迅速化を図ります。(2020年7月設置完了)



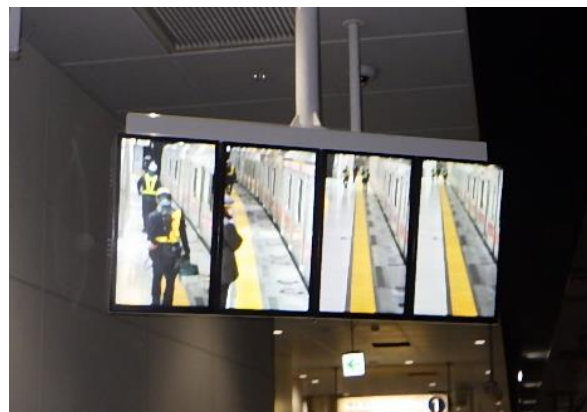
車内防犯カメラ

●ホームITVカメラの大型化

みなとみらい駅～元町・中華街駅におきまして、車掌が使用するホームITVカメラの大型化工事を実施しました。

これにより、映像の視認性が向上する為、お客様乗降時の安全確保強化を図ります。

(2020年12月設置完了)



ホームITVカメラ

●AEDの設置

みなとみらい線では、全駅にAED（自動体外式除細動器）を設置し、お客様の救急救命に備えています。



各駅のAED

営業路線図



本報告書に関するお客様のご意見をお寄せください。

「2020年度 安全報告書」の内容や当社の安全への取組みについてのご意見・ご質問は「横浜高速鉄道お客様電話」または「横浜高速鉄道ホームページ」で承ります。

横浜高速鉄道お客様電話

TEL：045-664-0629

（受付時間：平日 AM9:00～PM5:30、土、日、祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く）

横浜高速鉄道ホームページ

<http://www.mm21railway.co.jp>

※画面最下部「お問い合わせ」よりご意見をお寄せください。